

表3 人口増減の大きい市町

増加数(人)				増加率(%)				順位		減少数(人)				順位		減少率(%)	
1	長泉町	171	-	1	長泉町	0.40	-	1	静岡市	4,995	1	1	川根本町	3.86	4		
								2	浜松市	4,612	2	2	松崎町	3.56	6		
								3	沼津市	1,980	3	3	西伊豆町	3.11	1		
								4	藤枝市	1,307	5	4	河津町	2.58	2		
								5	富士宮市	1,206	7	5	南伊豆町	2.27	3		
								6	富士市	1,202	4	6	下田市	2.22	7		
								7	磐田市	1,092	14	7	熱海市	2.03	9		
								8	三島市	1,088	8	8	牧之原市	1.960	19		
								9	島田市	959	11	9	伊豆市	1.957	5		
								10	伊東市	937	10	10	御前崎市	1.80	11		

※当年増加市町数 1
 ※前年増加市町数 0

(注) 内の数字は前年の順位

(2) 自然動態

前年に比べ自然動態が増加した市町はなく、人口が減少した35市町のうちで、減少数は静岡市が5,826人で最も多く、減少率では川根本町が2.88%で最も高くなっている。

表4 自然増減の大きい市町

増加数(人)				増加率(%)				順位		減少数(人)				順位		減少率(%)	
増加した市町なし				増加した市町なし				1	静岡市	5,826	1	1	川根本町	2.88	2		
								2	浜松市	5,483	2	2	西伊豆町	2.85	1		
								3	沼津市	2,095	3	3	松崎町	2.43	4		
								4	富士市	1,793	4	4	熱海市	2.42	3		
								5	伊東市	1,186	5	5	南伊豆町	2.25	6		
								6	富士宮市	1,181	6	6	東伊豆町	2.16	7		
								7	藤枝市	1,151	7	7	河津町	2.15	5		
								8	磐田市	1,125	8	8	伊豆市	1.94	8		
								9	焼津市	981	9	9	下田市	1.884	9		
								10	三島市	855	10	10	伊東市	1.875	10		

※当年増加市町数 0
 ※前年増加市町数 0

(注) 内の数字は前年の順位

(3) 社会動態

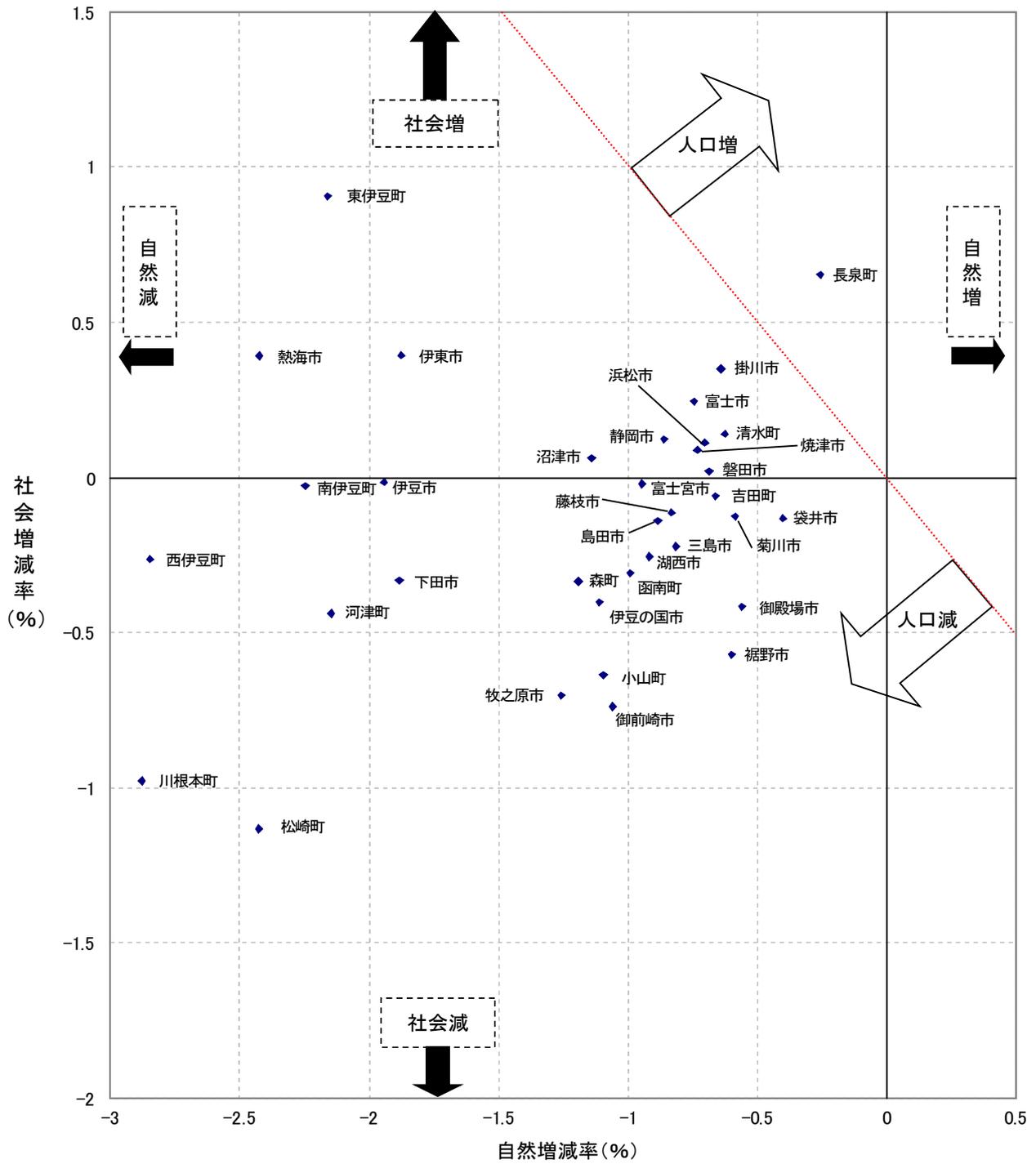
12市町で増加し、増加数は浜松市が871人で最も多く、増加率は東伊豆町が0.91%で最も高くなっている。一方、23市町で減少となり、減少数は御殿場市が346人で最も多く、減少率では松崎町が1.13%で最も高くなっている。

表5 社会増減の大きい市町

増加数(人)				増加率(%)				順位		減少数(人)				順位		減少率(%)	
1	浜松市	871	1	1	東伊豆町	0.91	1	1	御殿場市	346	1	1	松崎町	1.13	-		
2	静岡市	831	-	2	長泉町	0.65	9	2	牧之原市	294	19	2	川根本町	0.98	10		
3	富士市	591	5	3	伊東市	0.394	4	3	裾野市	279	4	3	御前崎市	0.74	6		
4	掛川市	396	3	4	熱海市	0.392	2	4	三島市	233	3	4	牧之原市	0.70	19		
5	長泉町	282	11	5	掛川市	0.35	5	5	御前崎市	219	6	5	小山町	0.64	4		
6	伊東市	249	4	6	富士市	0.25	11	6	伊豆の国市	183	10	6	裾野市	0.57	5		
7	熱海市	126	6	7	清水町	0.14	3	7	藤枝市	156	5	7	河津町	0.44	3		
8	焼津市	119	-	8	静岡市	0.12	-	8	湖西市	145	16	8	御殿場市	0.42	2		
9	沼津市	115	9	9	浜松市	0.11	7	9	島田市	130	-	9	伊豆の国市	0.40	13		
10	東伊豆町	99	8	10	焼津市	0.09	-	10	袋井市	116	-	10	森町	0.34	16		

(注) 内の数字は前年の順位(「-」は減から増、増から減へ変化)

図8 自然・社会増減率による市町の分布



(4) 年齢構成

年齢3区分別の構成割合をみると、年少人口割合が最も高いのは長泉町の14.90%、最も低いのは西伊豆町の4.85%で、その差は10.05ポイントとなっている。

生産年齢人口割合についても、最も高いのは長泉町の62.44%、最も低いのは西伊豆町の40.69%で、その差は21.75ポイントとなっている。

老年人口割合が最も高いのは西伊豆町の54.46%、最も低いのは長泉町の22.65%で、その差は31.81ポイントとなっている。

表6 市町別年齢構成割合

表6-1 上位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	長泉町	14.90	1	1	長泉町	62.44	1	1	西伊豆町	54.46	1
2	袋井市	13.46	2	2	吉田町	61.21	2	2	川根本町	52.43	2
3	菊川市	13.07	3	3	清水町	60.88	3	3	松崎町	51.62	3
4	掛川市	12.90	4	4	御殿場市	60.75	4	4	南伊豆町	51.27	4
5	磐田市	12.09	6	5	袋井市	60.64	5	5	東伊豆町	49.07	6
6	裾野市	12.07	5	6	湖西市	60.20	6	6	熱海市	48.85	5
7	浜松市	11.99	7	7	富士市	58.81	8	7	伊東市	45.07	7
8	藤枝市	11.92	8	8	裾野市	58.73	7	8	伊豆市	44.45	9
9	清水町	11.89	9	9	浜松市	58.62	9	9	河津町	44.40	8
10	島田市	11.85	11	10	菊川市	58.49	10	10	下田市	43.68	10

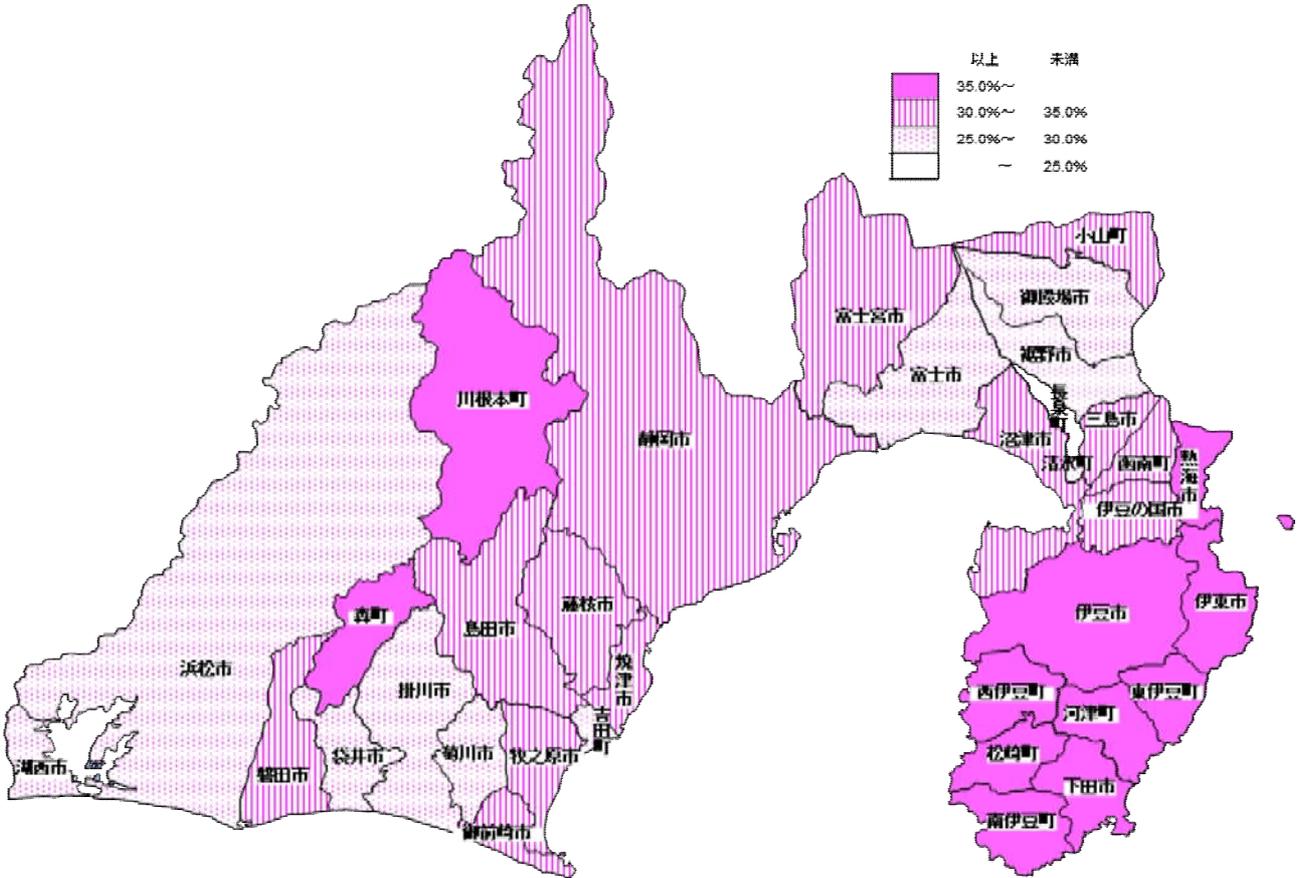
表6-2 下位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	西伊豆町	4.85	1	1	西伊豆町	40.69	1	1	長泉町	22.65	1
2	熱海市	5.14	2	2	南伊豆町	41.33	2	2	袋井市	25.90	2
3	東伊豆町	5.34	3	3	川根本町	41.36	3	3	清水町	27.23	3
4	川根本町	6.21	4	4	松崎町	41.79	4	4	吉田町	27.39	4
5	松崎町	6.59	5	5	東伊豆町	45.58	5	5	御殿場市	27.50	5
6	伊東市	7.33	7	6	熱海市	46.01	6	6	菊川市	28.44	6
7	南伊豆町	7.40	6	7	伊東市	47.60	7	7	湖西市	29.10	8
8	伊豆市	7.47	8	8	河津町	48.05	8	8	裾野市	29.20	7
9	河津町	7.56	10	9	伊豆市	48.08	9	9	掛川市	29.38	9
10	下田市	7.67	9	10	下田市	48.65	10	10	浜松市	29.39	10

(注) ■内の数字は前年の順位

図9 市町別老年人口割合（令和6年10月1日現在）



(5) 平均年齢

表7 市町別平均年齢

(単位:歳)

平均年齢が最も高いのは、西伊豆町の61.88歳、最も低いのは長泉町の44.76歳で、その差は17.12歳となっている。

順位	高い市町		順位	低い市町	
1	西伊豆町	61.88	1	長泉町	44.76
2	川根本町	61.10	2	袋井市	46.03
3	松崎町	60.59	3	菊川市	47.23
4	南伊豆町	59.68	6	吉田町	47.44
5	熱海市	59.64	4	御殿場市	47.62
6	東伊豆町	59.59	5	清水町	47.94
7	伊東市	57.31	7	掛川市	47.99
8	河津町	57.11	8	裾野市	48.30
9	伊豆市	56.87	9	浜松市	48.45
10	下田市	56.77	10	磐田市	48.53

(注) 内の数字は前年の順位

3 地域圏別年齢構成割合

令和6年10月1日現在の年齢3区分別の構成割合を地域圏別にみると、年少人口割合が最も高いのは「西部地域」の12.12%、最も低いのは「伊豆半島地域」の9.09%となっている。

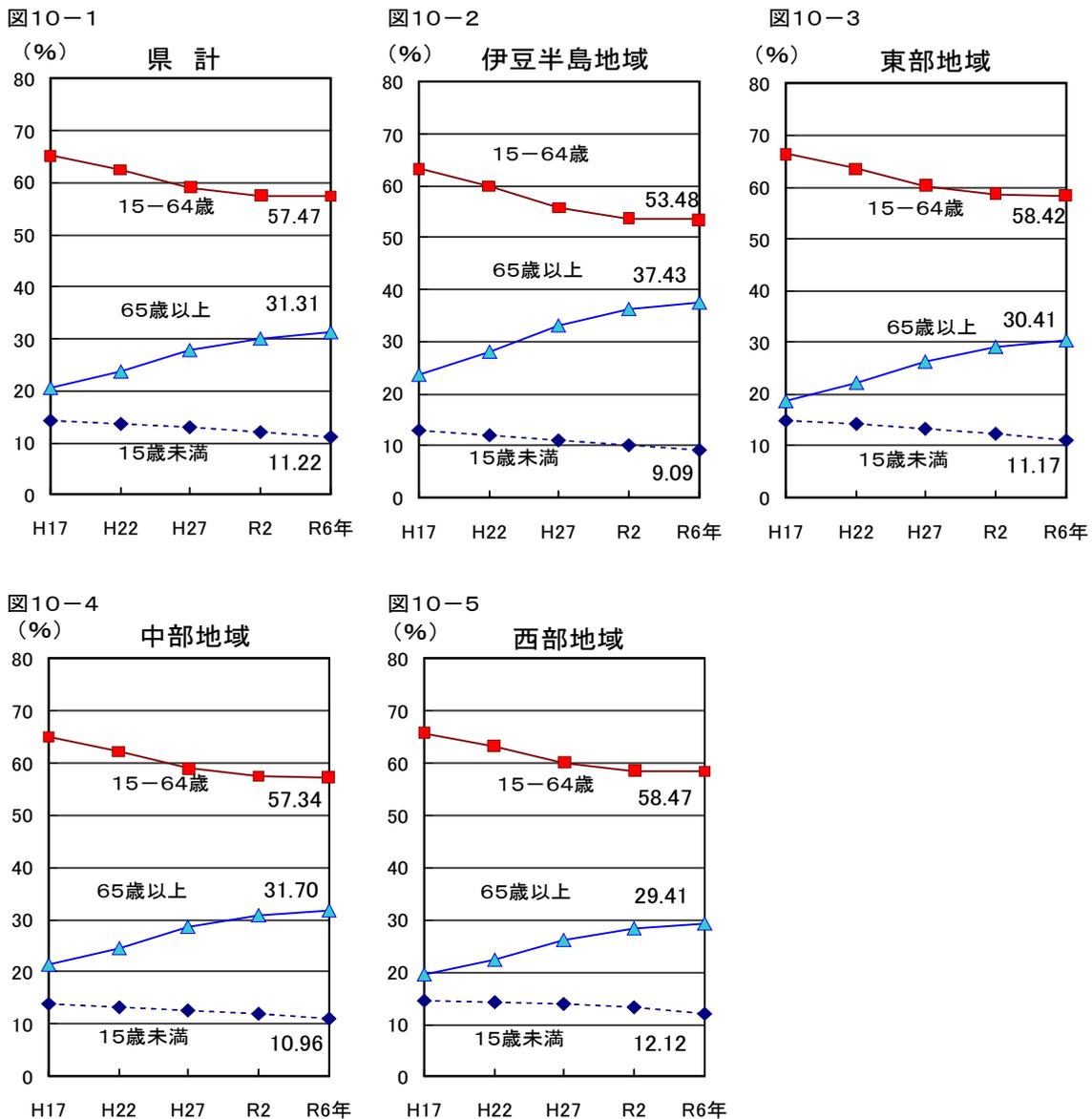
生産年齢人口割合が最も高いのは「西部地域」の58.47%、最も低いのは「伊豆半島地域」の53.48%となっている。

老年人口割合が最も高いのは「伊豆半島地域」の37.43%、最も低いのは「西部地域」の29.41%となっている。

また、老年人口割合を平成17年国勢調査時と比べると、「伊豆半島地域」は13.77ポイント増、「東部地域」は11.61ポイント増、「中部地域」は10.47ポイント増、「西部地域」は9.72ポイント増となっている。

なお、県全体では10.74ポイント増となっている。

図10 地域圏別年齢構成割合の推移



※各市町ごとのグラフは統計表に掲載。

4 外国人人口

(1) 総人口

令和6年10月1日現在の本県の外国人人口は、107,822人で前年に比べ8,818人増加し、増加率は8.91%となっている。

男女別にみると、男53,491人、女54,331人で、性比は98.45となっている。

本県の総人口に占める割合は、3.06%で、前年より0.27ポイント増加した。

表8 外国人人口の推移

年	外国人推計人口(人)			総数の増減率(%)	総人口に占める割合(%)
	総数	男	女		
2年	86,046	41,902	44,144	3.94	2.37
3年	85,445	41,535	43,910	-0.70	2.37
4年	91,368	44,646	46,722	6.93	2.55
5年	99,004	48,657	50,347	8.36	2.79
6年	107,822	53,491	54,331	8.91	3.06

※令和2年の人口は、国勢調査の確定値。

※外国人人口には国籍不明の者は含まない。

(2) 市町別人口

外国人人口は、浜松市の26,849人が最も多く、外国人人口全体の24.90%を占めている。

前年に比べ外国人人口が増加した市町は33市町で、増加数では静岡市の1,851人が最も多くなっている。

一方、前年に比べ減少した市町は2町で、減少数は函南町が6人、松崎町が2人となっている。また地域圏ごとの総人口に占める外国人の割合は、西部地域で高くなっている。

表9 市町別外国人人口

順位	外国人人口(人)		市町各総人口に占める割合(%)		増加数(人)		減少数(人)			
1	浜松市	26,849	1	菊川市	8.27	1	静岡市	1,851	函南町	6
2	静岡市	12,469	2	吉田町	7.78	2	浜松市	1,750	松崎町	2
3	磐田市	8,840	3	湖西市	7.24	3	富士市	852		
4	富士市	6,543	4	袋井市	6.24	4	沼津市	457		
5	袋井市	5,458	5	牧之原市	5.97	5	焼津市	375		

(注) 内の数字は前年の順位

表10 地域圏別外国人人口

順位	外国人人口(人)		地域圏各総人口に占める割合(%)		増加数(人)	
1	西部地域	55,498	西部地域	4.31	西部地域	2,922
2	中部地域	26,336	東部地域	2.42	中部地域	2,726
3	東部地域	21,983	中部地域	2.37	東部地域	2,475
4	伊豆半島地域	10,915	伊豆半島地域	2.02	伊豆半島地域	1,277

※外国人人口割合は、令和2年国勢調査において国籍が不明な者23,339人を含む県計に対する割合。

※伊豆半島地域と東部地域に重複する市町(沼津市、三島市、函南町)があるため、地域の合計値と県計値は一致しない。

※「増加数」は、令和5年10月1日現在の外国人人口からの増加数

図 11 市町別外国人人口割合（令和 6 年 10 月 1 日現在）

